

発行日 令和2年3月1日  
発行者 西中学校区人権学習推進委員会  
事務局 倉敷市倉敷西公民館  
倉敷市八王寺町199-3  
TEL/FAX (086) 424-3610  
E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp  
http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi

# かかやき

## 人権作品表彰式

令和元年12月8日(日)、西中学校区の小学校・中学校から推薦された作文・標語・ポスター53点の中から選ばれた優秀作品10点の表彰式を行いました。

表彰式では、作文の朗読と標語・ポスターに込められた「思い」の発表があり、それぞれが自分の言葉で堂々と気持ちを伝えていました。

子どもたちの鋭い感覚に、参加者も人権について考え、学ぶことの多い会となりました。



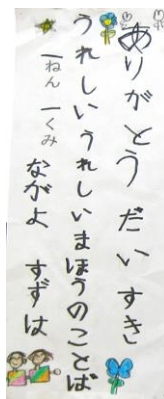
### 作文の部

「幸せにする言葉」  
倉敷市立万寿小学校  
6年 平井 美結さん

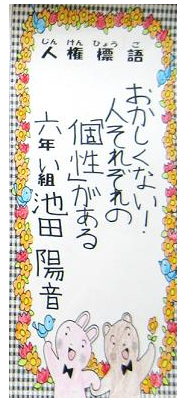
「障がい者の働き方について」  
倉敷市立西中学校  
3年 支倉 愛望さん

### 標語の部

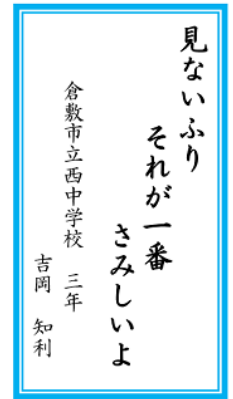
倉敷市立中洲小学校  
1年 長代 珠々葉さん



倉敷市立老松小学校  
6年 池田 陽音さん



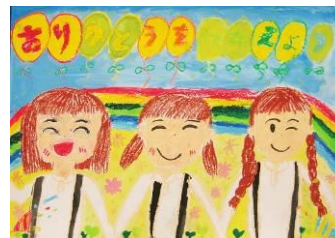
倉敷市立西中学校  
3年 吉岡 知利さん



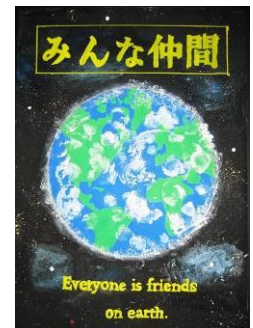
### ポスターの部



倉敷市立倉敷西小学校  
1年 柳井 璃子さん



倉敷市立万寿小学校  
3年 逸見 尚央さん



倉敷市立西中学校  
2年 藤岡 岳飛さん



倉敷市立老松小学校  
1年 小山 蓮ノ介さん



倉敷市立中洲小学校  
6年 柴倉 茉那さん

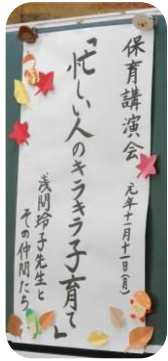


# キラキラ◆子育て

倉敷市大内保育園

11月11日(月)に講師にボランティアグループ『おひさまクラブ』代表浅間玲子先生をお招きし、『忙しい人のキラキラ子育て』という演題で講演をしていただきました。

その中で、「大切なことは返事と挨拶の2つで、心を開いて寄り添うことができれば身近な人からいろいろなことを教えてもらえる」と話されました。「みなさんは子どもが話しかけてきた時に、どう返事をしてしていますか？」と尋ねられ、「はい」と言葉を返すことの大切さを改めて感じました。



また、幸せの引き寄せ方として、毎朝の心のリセット、笑うこと、無条件の好きという気持ち、親も輝く時間をもつことなど、行動すれば今日からでも変わると教えていただきました。

忙しいという文字は心をなくすことというお話を聞きながら、子どもたちをとりまく私たち大人が、心をなくすことなくキラキラ輝きながら子どもたちと関わっていきたいと思いました。



# ふれあいサロン

倉敷市立老松幼稚園



11月12日(火)に、地域の一人暮らしのお年寄りの方をお招きして、ふれあいサロンを開催しました。

一緒に歌を歌ったり、簡単な手遊びをしたりして交流を楽しみ、最後に『レモン汁』という肌のふれあう遊びを行いました。最初は緊張していた子どもたちでしたが、名前を呼んでもらったり、ふれあったりしていくうちに、いつの間にかみんな笑顔になっていました。短い時間でしたが、今まであ

まり関わる事ができていなかった地域の方との貴重なふれあいができました。

子どもたちが地域の方に親しみの気持ちを持ち、いつも温かく見守ってくださっていることに気が付いたり、進んで挨拶や交流をしたりするきっかけになればと願っています。

# ふれあいウォーク

西中学校区青少年を育てる会

11月16日(土)、酒津公園を中心とした第17回ふれあいウォークが開催されました。雲一つない青空の下、約450人の参加者が楽しく和気あいあいとそれぞれのコースを歩きました。



Bコースでは、汗をかきながら酒津八幡神社へと続く415段の石段を登ると、西中学校区の街並みがよく見渡せ、疲れが吹き飛ばすような気持ちになりました。

ゴール後は、キャンディすくいやゴミ拾いをして、地域の方々との交流を深めました。



# 「万寿のきょうだい」の仲を深める 「きょうだい週間（校内人権週間）」

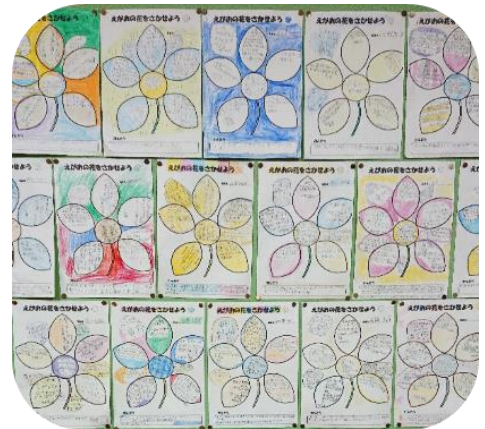
倉敷市立万寿小学校

万寿小学校では、児童は全員『万寿のきょうだい』であるという伝統のもと、毎年『きょうだい週間』を設けています。例年、人権に関する絵本の読み聞かせや、高学年と低学年のきょうだい学級での学級遊びなどを行っています。

今年は、1月20日から1週間、『えがおの花』に取り組みました。自分のよいところを友達に見つけてもらい、花形のプリントに書いてもらいます。

児童の感想には、「よいところをたくさん書いてくれてうれしかった。」とか「自分では思っていなかったよいところを見つけてくれた。」といった言葉があり、児童は自分のよさに気付くとともに、学級の絆がより強まったことを感じたようです。

1月25日の土曜授業日には、『万寿の子まつり』もあり、3年生以上の学級が用意したお店を全校の児童で楽しみ、学年をこえた交流で『万寿のきょうだい』の仲を深めることができました。



## 中洲学区民祭

中洲学区町内会連合会

10月14日(月)体育の日に、イオンモール倉敷イオンホールで、第49回中洲学区民祭が開催されました。昨年度は、西日本豪雨の甚大な被害を受けて中止となったため、今回は2年ぶりの開催となりました。秋らしいさわやかな天気にも恵まれ、開会前から多くの地域住民の方が来場されました。

中洲学区町内会連合会浅野博会長の開会挨拶、ご来賓の伊東香織市長のご祝辞でスタートした学区民祭は、中洲小学校



ダンスクラブ児童、西中学校の有志の生徒によるダンス、そして、地域の団体や有志のみなさんの歌や踊りが次々と披露され、楽しく華やかな会となりました。

また、会場付近では、人権学習推進委員会の推進委員や事務局員による人権啓発ティッシュの配布や人権啓発のぼり旗の設置などの啓発活動が行われました。

人権啓発ティッシュは、西中学校区人権学習推進委員会のことをより多くの方に知っていただけるよう、地域の様々な行事で配布しています！



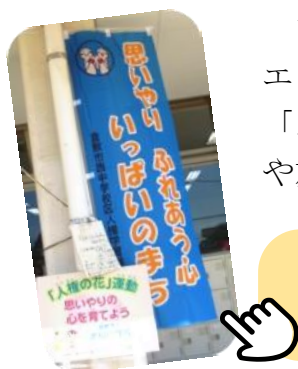
# 老松ふれあいフェスタ

老松小学校PTA

11月2日(土)、秋晴れのさわやかな天気の中で、老松小学校を会場に、老松ふれあいフェスタが開催されました。老松小学校のPTAや先生、婦人部、おやじの会、地域の有志の方による模擬店には、開店と同時に、多くの家族連れや子どもたちが楽しそうに列を作っていました。



また、倉敷工業高校生徒による「サイエンスショー」や少年野球チームによる「ストラックアウト」、「輪投げ」などのゲームのコーナーも開設され、家族や友達と楽しむ子どもたちの笑顔と歓声があふれていました。



地域の行事などで人権のぼり旗を設置しています。西中学校区人権学習推進委員会のテーマ「思いやり ふれあう心 いっぱいのまち」が目印です！

# 笑顔で働く障がい者からもらったもの ～障がいは不幸ではないが…～

人権教育講演会



1月19日(日)、倉敷西公民館主催の令和元年度第2回人権教育講演会が開催されました。講師として、元岡山大学大学院教育学研究科特任教授の妹尾一道先生をお招きし、『笑顔で働く障がい者からもらったもの～障がいは不幸ではないが…～』という演題でご講演をいただきました。人権学習推進委員や倉敷西公民館のグループ生、地域の方など51名が参加しました。

先生が長年携ってこられた知的障がいのある方のスポーツ活動を支援する団体SON（スペシャル・オリンピックス・日本）の活動や障がいのある方の就労支援の活動のお話を通して、障がいを理解することの大切さについて、ユーモアをまじえながら終始笑顔で、お話をしてくださいました。

最後に先生がまとめとして話された「障がいを理解することは、身も心も理解すること、知識だけでなく行動が伴うこと、障がいは理解されないことが不幸である」という言葉が心に残りました。



## 参加者の感想

障がいを理解して手をさしのべられる人になりたいです。

障がい者が楽しく働いたり、スポーツなどが笑顔のできる場所や人が広がれば良いと思った。